

国語科学習指導案

日時：平成29

生徒：

指導者

1 単元名

「風景と心情－漢詩を味わう－」（教育出版）

2 単元について

本単元は、中学校の古典学習の集大成である。これまで『故事成語』（1年）や孔子の『論語』（2年）で、文語のきまりや訓読の仕方、古文や漢文特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れ、漢詩が日本に強い影響を与えて続けてきたことを学習している。

本単元では、さらに漢詩のきまりとして絶句や律詩、押韻や対句などの表現の特徴を学ぶ。内容は漢詩『春望』『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』である。教科書では、書き下し文と解説を配し、段階的に理解できるように配慮がなされている。音読により表現の美しさやリズムをとらえ、自然の巧みな描写に気を付けながら、作者の感動や悲しみなどの心情を味わわせることで、漢文に親しみをもたせることのできる教材だと考える。そのため、作者の生き方や境遇、作品の歴史的背景を紹介することで、作品への興味関心を高め、古典に親しめるようにしたい。

そこで、「漢詩や書き下し文から読み取った内容を鑑賞文にまとめ、交流する。」言語活動を単元の終末に設定した。鑑賞文の交流を図ることで、作品の感じ方が様々あることに気づき、自分の作品への理解や感じ方、その表現の仕方を深めるきっかけとしたい。自分の作品への理解を見直させることにより、より深く古典を味わわせることができると考える。

3 研究の視点

(1) 視点1 主体的な学びを生む学習活動

①学ぶ内容と解決の方法を生む学習活動の工夫（やってみたい）（考えたい）

「漢詩や書き下し文から読み取った内容を鑑賞文にまとめ、交流する。」と単元を貫く言語活動を設定した。利点として、漢文特有のリズムを感じとったり、作者の心情をより深く体感できたりすることと考える。

そこで、本単元では、次のように単元構成を工夫した。1時間目に既習の漢詩のきまりについて十分復習したり、新出の漢詩の基本的なきまりについて学んだりなど、知識の確実な定着を図っていく。2時間目では、『春暁』を用いて鑑賞文のモデルを示すことで、鑑賞文を構成する流れやポイントの理解を確実にさせていく。3・4時間目は、2つの漢詩それぞれについて、写真や現代語訳を活用し、作者の生き方や境遇、作品の歴史的背景に触れながら、内容理解を進め、古典の世界に親しませる。そうして、漢詩への興味関心を高めることで、5時間目の交流活動が活発になり、古典への味わいが深まるようにした。

また、単元の最初に、5時間目に鑑賞文の交流活動を行うことを提示することで、単元の見通しをもたせることができるとともに、学習活動への意欲を高められるようにした。生徒が「友達に鑑賞文の内容をわかりやすく伝えるために、毎回の授業を十分に理解していくことが大切だ。」と、1単位時間の学習活動と単元を貫く言語活動とのつながりを意識し、より主体的に学習に取り組むことができると考える。

②学びの過程や結果を振り返り、次の学びへとつなげる活動の工夫（学びたい）

単元を通して、1単位時間の終末時に振り返る活動を設定する。一人一人の学習状況を把握し、支援の手がかりとすることに加え、「学習課題に題して、自分にとってどのような学びがあったのか。」と視点を置き、記述式で振り返らせる。記述内容は右のようにし、思考力、判断力、表現力を育むことや生徒の主体性や学習意欲を高めたりすることにつなげる。これらの「認知面」からの記述だけでなく、新たな課題を見付け、学習への意欲をもつ「情意面」での振り返りも認め、振り返る時間

「内容に関わること」：学習事項の知識や技能

「理解の変容に関わること」：既存の考えから新しい理解への変化

「学び方に関わること」：学習した筋道や自分の思考や判断

の確保を含めて計画的に行うことを大切にしたい。

また、古典についての自分の考えを1時間目に「単元のはじめの考え」として、5時間目に「単元を終えて」として記述させ、比較させることで、学習したことによる自己の変容や自己の認識の深化をしっかりと自覚することへとつなげていきたい。

(2) 視点2 思考力・表現力を育成する活動の工夫

①学びをつなぎ、筋道を立てて考え、根拠や理由を示して伝える活動の工夫（話したい）（聞きたい）

単元を貫く言語活動として「漢詩や書き下し文から読み取った内容を鑑賞文にまとめ、交流し合う」ことを位置付けたことで、単元の導入時から「よりよい鑑賞文や交流にするためには？」という学習への目的意識をもたせるようにした。また、生徒相互で鑑賞文を交流し合うため、「友達に自分の鑑賞文を発表する」という相手意識も明確にもつことができると考える。

5時間目の交流活動を充実したものにするには、鑑賞のもととなる3・4時間目の学習が鍵になる。「詩の中の起承転結に注目させ、クライマックスを探し、根拠をもって説明する」など、作品に描かれた情景や心情を想像して読み、表現する活動において、作品の言葉や文、現代語訳や語中等から、自分の考えの根拠がどこなのかを明確し、ペアで交流させる。それらを繰り返し行うことで、自分の考えを伝える活動に慣れさせ、「話したい」という意欲や自信を高めていきたい。

②解決のきっかけをつかみ、考えを深めるための交流の工夫（聞きたい）（やってみよう）

本単元の5時間目では、鑑賞文を書き、交流を行う。その際、交流のポイント（キーワード・作者の心情・現代語訳をもとにしているか、など）を具体的に示すことで、自分の鑑賞文の説明や相手の鑑賞文への感想を述べる際の視点が、より分かりやすくなると考える。

また交流をもとに鑑賞文の推敲をする活動を設定することで、「お互いの発表をよく聞く」という必然性を生みだし、それが「聞きたい」という意欲や「もっとよい鑑賞文を『作ってみたい（やってみよう）』」という気持ちにつながると考える。そのため、交流時には、自分と友達との考えや感じ方の相違点に着目させ、「聞きたい」という気持ちを高めることを大切にしたい。

4 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- ・歴史的背景を踏まえて話し合い、情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。
- ・詩の形式や表現の工夫などを理解して、作品の内容を理解し、作品の響きを味わう。

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">・漢詩の表現の工夫に興味をもち、学習しようとしている。・漢文の訓読法を振り返りながら漢詩の表現の工夫を確認し、漢詩を読もうとしている。	<ul style="list-style-type: none">・漢詩の歴史的背景を踏まえ、情景の描写や作者の心情を理解して、自分の考えを深めている。・語句の効果的な使い方、表現上の工夫に注意して読んでいる。	<ul style="list-style-type: none">・漢詩の形式を知り、その言葉の響きやリズムなどに注意して音読している。・七言絶句や五言律詩の形式、起承転結の構成や対句について理解し、書き下し文を書いている。

5 単元の指導計画

時数	○主な学習活動 ◎教師の働きかけ	【】評価規準 () 視点 ○留意点
つかむ	<p>① ○これまでの漢文の学習を振り返る。 ◎漢文についての自分の考えを「単元のはじめの考え」としてノートに記述させる。 ○学習の見通しを立てる。 ・単元名と教科書の最初の漢詩の紹介文を読む。 ・教科書P 124～126までの漢詩の範読CDを聞く。 ◎今回の単元の目標を確認し、単元のゴールを示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">2つの漢詩を鑑賞文にして、交流し合う。</div> <p>◎学習課題を提示する。 漢文や漢詩の基本的なきまりについて理解しよう。</p> <p>○漢文のきまりについて復習する。 ・返り点は左下，送り仮名は右下にカタカナで表記される。 ・書き下し文はひらがなで表記する。 ◎漢文の返り点と送り仮名の表記のしかたを確認する。 ○練習問題に取り組む。 ・グループ内で全員が理解できるよう，協同学習を行う。 ◎漢詩のきまりについて教える。 ○漢詩のきまりについてノートにまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">①詩形 「絶句」と「律詩」，五言と七言 ②押韻 ③対句</div> <p>○学習のまとめと振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">①学習の流れや学習方法，単元のゴールを理解し，単元の見通しをもてたか。 ②古典を読み，自分の考えをもつということを理解できたか。 ③漢文や漢詩の基本的なきまりを理解できたか。</div>	<p>【国語への関心・意欲・態度】 ・漢詩の表現の工夫に興味をもち，学習しようとしている。（発言・ノート）</p> <p>○グループ編成は，生活班を基準にして行う。下位層の生徒には，学習支援員の教員を配置する。</p> <p>視点1①【やってみよう】 単元目標を確認し，ゴールを示すことで見通しがもて，主体的な学習につなげる。</p> <p>視点1②【学びたい】 振り返り活動から，自分の理解度を教師の支援へ生かす。</p>
	<p>② ○前時の確認テストを行う。 ・書き下し文（レ点，一・二点の混合）の練習問題を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">漢詩の鑑賞の基本を身につけよう。</div> <p>◎「春暁」の内容をもとに，漢詩のもつリズムや漢詩のきまりについて確認する。 ○書き下し文をもとに，音読を繰り返す。 ○書き下し文や現代語訳などをもとに，情景や作者の心情を想像する。 ◎読み取ったことをもとにして書いた鑑賞文（例）を紹介する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">春の朝。心地よく眠っていて，夜が明けたのにも気づいていません。あちこちから鳥の鳴き声が聞こえてきて，昨夜の雨でどのくらいの花が散ったかと思っています。作者は布団の中から春の暖かな朝を感じているのだと思います。私も，春になりだんだん暖かくなると布団から出られないこともあるので，作者の気持ちがよく分かりました。</div> <p>◎鑑賞文に用いられている言葉や表現技法について注目させ，鑑賞文を構成する流れをまとめる。</p>	<p>【国語への関心・意欲・態度】 ・漢文の訓読法を振り返りながら漢詩の表現の工夫を確認し，漢詩を読もうとしている。（発言・ノート）</p> <p>【読む能力】 ・語句の効果的な使い方や表現上の工夫に注意して読んでいる。（発言・ノート）</p> <p>視点1①【やってみよう】 次時以降に行う，活動をモデルとして示すことで，見通しを明確にし，主体的な学習につなげる。</p> <p>視点1②【学びたい】 知識や技能など内容に関わる振り返りを行うことで定着を図り，さらに学習への意欲を高める。</p>

	<p>【鑑賞文を構成する流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節はいつか。 ・ 誰がどんなことをしている場面か。 ・ クライマックスはどこか。 ・ 作者はこの詩を書いたとき、どういう心情か。 ・ 自分なりにどういう印象を受けたか。 	
<p>追求する</p>	<p>③ ◎前時の振り返りを行い、本時の学習課題を確認する。</p> <p>「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」の鑑賞をしよう。</p> <p>◎漢詩のもつリズムや漢詩のきまりについて確認する。 ○音読を繰り返し行う。 ◎書き下し文を書かせ、現代語訳を教科書で確認する。 ○ノートに書き下し文を書く。 ◎詩の中の起承転結に着目させ、情景や作者の心情を想像させる。 ○場面の展開に注目し、想像した内容について、根拠をもとに説明し合う。 ○説明された内容をノートにメモし、鑑賞文創作の材料にする。</p> <p>【鑑賞文創作の材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対比 ・ 孤独 ・ 自然 ・ 黄鶴楼の華やかさ ・ 別れ ・ 友人 <p>○学習のまとめと振り返りを行う。</p> <p>①描写の効果や、登場人物の言動の意味等をとらえ、それぞれの漢詩の内容を理解することができたか。</p> <p>②作品に表われているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連付けて考え、自分の意見を持ち、交流することができたか。</p>	<p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢詩の形式を知り、その言葉の響きやリズムなどに注意して音読している。(音読) ・ 七言絶句や五言律詩の形式、起承転結の構成や対句について理解し、書き下し文を書いている。(ノート) <p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢詩の歴史的背景を踏まえ、情景の描写や作者の心情を理解している。(発言・ノート) <p>○登場人物や情景について言代語訳をもとに図示する。</p> <p>視点2①【話したい】 説明し合う活動を行うことで自分の考えの根拠を明確にするだけでなく、伝える活動に慣れ、その後の活動の意欲を高める。</p> <p>視点1②【学びたい】 学び方に関わる振り返りを行うことで、学習への意欲や表現力を高める。</p>
	<p>④ ◎前時の振り返りを行い、本時の学習課題を確認する。</p> <p>「春望」の鑑賞をしよう。</p> <p>◎漢詩のもつリズムや漢詩のきまりについて確認する。 ○音読を繰り返し行う。 ◎書き下し文を書かせ、現代語訳を教科書で確認する。 ○ノートに書き下し文を書く。 ◎詩の中の起承転結に着目させ、情景や作者の心情を想像させる。 ○場面の展開に注目し、想像した内容について、根拠をもとに説明し合う。 ○説明された内容をノートにメモし、鑑賞文創作の材料にする。</p> <p>【鑑賞文創作の材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心が落ち着かず ・ 家族からの手紙 ・ 戦乱 ・ 自然 ・ 人の世のはかなさ 	<p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢詩の形式を知り、その言葉の響きやリズムなどに注意して音読している。(音読) ・ 七言絶句や五言律詩の形式、起承転結の構成や対句について理解し、書き下し文を書いている。(ノート) <p>視点2①【話したい】 説明し合う活動を行うことで自分の考えの根拠を明確にするだけでなく、伝える活動に慣れ、その後の活動の意欲を高める。</p>

	<p>○「自然」と「人の営み」または「人の世」という言葉を使ってこの詩の主題を短くまとめる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自然は変わらないが、人の営み（人の世）は悲しいほど変わっていく。</p> <p>○学習のまとめと振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①描写の効果や、登場人物の言動の意味等をとらえ、それぞれの漢詩の内容を理解することができたか。</p> <p>②作品に表われているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連付けて考え、自分の意見をもち、交流することができたか。</p> </div>	<p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢詩の歴史的背景を踏まえ、情景の描写や作者の心情を理解している。（発言・ノート） <p>○中心人物の心情の変化に注目させる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点1②【学びたい】 学び方に関わる振り返りを行うことで、学習への意欲や表現力を高める。</p> </div>
<p>ま と め る</p>	<p>⑤ ◎前時の振り返りを行い、本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>鑑賞文を書いたり、交流したりする活動を通して、情景や作者の心情の理解を深めよう。</p> </div> <p>◎学習の進め方について説明する。 ・一方の鑑賞文を選択し、鑑賞文を完成させる。</p> <p>◎漢詩ごとの小グループを構成させる。</p> <p>○鑑賞文を書くための必要な情報を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>季節はいつか？ 誰がどんなことをしている場面を描いたものか？ クライマックスはどこか？ 作者がこの詩を書いたときの心情は？ 自分なりに受けた印象は？</p> </div> <p>○個人で鑑賞文を創作する。 ○創作した鑑賞文を個人で自由に交流しあう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【交流のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞文に構成要素がきちんと含まれているか。 根拠に基づいて、分かりやすい文になっているか。 自分の感じ方の類似点（共感）や異なる点（疑問）。 </div> <p>◎メモした感想や同じ漢詩の鑑賞文をもとに推敲させる。 ○交流した内容をもとに、個人で鑑賞文を推敲する。</p> <p>○学習を振り返り、自己評価をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・描写の効果、登場人物の言動の意味、場面や登場人物の設定の仕方をとらえて、作者の心情や作品の主題を理解し、交流して深めることができたか。</p> </div> <p>◎「単元の最後の考え方」をノートに記述させ、「単元の最初の考え方」と比較させる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢詩の表現の工夫に興味をもち、学習しようとしている。（発言・ノート） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点①2【学びたい】 前時までの学習を振り返り、本時とのつながりを意識させることで、主体的な学習につなげる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点2②【聞きたい・やってみたい】 相手の鑑賞文に対して必ず感想を伝え合うという活動を行うことで、聞く意識を高めることができる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点2②【聞きたい・やってみたい】 交流し合ったことで、様々な感じ方や表現の仕方があることに気付かせ、作品をさらによりよいものにする態度につなげる。</p> </div> <p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢詩に描かれた情景や人物姿、作者の心情を理解している。（ノート） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点1②【学びたい】 単元の前後で自分の考え方の変容に気付かせ、自己の認識を深めさせることができる。</p> </div>

6 本時について

(1) 本時の目標

- ・漢詩の表現の工夫に興味をもち、学習しようとする。【関心・意欲・態度】
- ・漢詩に描かれた情景や人物の姿、作者の心情を理解することができる。【読む能力】

(2) 本時の展開

段階 (分)	○主な学習活動 ◎教師の働きかけ ・生徒の活動	【】評価規準 () 評価物 ○留意点
導入 10	<p>○前時までの学習内容を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「黄鶴楼」「春望」の鑑賞をして、鑑賞文創作の材料を整理した。 ・鑑賞文の構成（季節・場面・クライマックス・作者の心情・自分の印象） <p>○本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">鑑賞文を書いたり、交流したりする活動を通して、情景や作者の心情の理解を深めよう。</div> <p>◎学習の進め方について説明する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「黄鶴楼」「春望」どちらの鑑賞文を書くのか選択する。 (2) 選択した漢詩文をもとに、個人で鑑賞文を書く。 (3) 個人で、創作した鑑賞文を推敲する。 <p>◎各漢詩の小グループを構成させる。</p>	<p>【】視点①2【学びたい】 前時までの学習を振り返り、本時とのつながりを意識させることで、主体的な学習につなげる。</p> <p>○学習課題は、本単元の「単元を貫く言語活動」と同じである。</p> <p>○漢詩を自分で選択することで主体的に学習に参加させる。</p>
展開 30 個人 15 自由 交流 15	<p>○鑑賞文を書くための必要な情報を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">季節はいつか？誰がどんなことをしている場面を描いたものか？クライマックスはどこか？作者がこの詩を書いたときの心情は？自分なりに受けた印象は？</div> <p>○個人で鑑賞文を創作する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例1：黄鶴楼) 125字</p> <p>花がすみ立つ三月。作者が古くからの友人である孟浩然を見送る場面を描いています。孟浩然が乗った舟を見つめる作者や舟が長江を下っていく様子から、友人との別れの深さを感じさせられます。私は、舟が見えなくなるまで、見送る作者の様子に友人との別れを惜しむ作者の寂しさを感じました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例2：春望) 144字</p> <p>春になり、破壊された城を見つめる作者の様子が描かれています。戦火は三カ月も続き、花や鳥を見ても落ち着かず、家族からの手紙は、万金にも値するほど嬉しく思えました。心労で髪の毛も短くなり、冠をとめるかんざしも挿せない作者の様子から、私は家族に会えない作者の寂しい気持ちが印象に残りました。</p> </div> <p>○創作した鑑賞文を個人で自由に交流しあう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>交流のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞文に構成要素がきちんと含まれているか。 ・根拠に基づいて、分かりやすい文になっているか。 ・自分の感じ方の類似点（共感）や異なる点（疑問）。 </div>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の表現の工夫に興味をもち、学習しようとしている。（発言・ノート） <p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢詩に描かれた情景や人物姿、作者の心情を理解している。（発言、ノート） <p>○書くのが困難な生徒は、周りの生徒に聞くよう、促す。</p> <p>○一人1分程度とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>視点2②【聞きたい・やってみよう】</p> <p>相手の鑑賞文に対して必ず感想を伝えようという活動を行うことで、聞く意識を高めることができる。</p> </div>

終 末 10	<p>◎メモした感想や同じ漢詩の鑑賞文をもとに推敲させる。 ○交流した内容をもとに、個人で鑑賞文を推敲する。</p> <p>○学習を振り返り、自己評価をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・描写の効果、登場人物の言動の意味、場面や登場人物の設定の仕方をとらえて、作者の心情や作品の主題を理解し、交流して深めることができたか。</p> </div> <p>◎「単元の最後の考え方」をノートに記述させ、「単元の最初の考え方」と比較させる。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>視点2②【聞きたい・やってみたい】</p> <p>交流し合ったことで、様々な感じ方や表現のしかたがあることに気付かせ、作品をさらによりよいものにする態度につなげる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>視点1②【学びたい】</p> <p>単元の前後で自分の考え方の変容に気付かせ、自己の認識を深めさせることができる。</p> </div>
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 本時の評価

- ・漢詩の表現の工夫に興味をもち、学習しようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・漢詩に描かれた情景や人物の姿、作者の心情を理解している。【読む能力】